

SNS 等から入力した情報を共有できるシステム SharedPanel の設計と開発

長岡 千香子*, 喜多 敏博*, 平岡 斉士*, 中野 裕司*, 鈴木 克明*

Designing and Development of SharedPanel for Sharing Information Obtained from Online Services Like SNSs

Chikako NAGAOKA*, Toshihiro KITA*, Naoshi HIRAOKA*, Hiroshi NAKANO*,
Katsuaki SUZUKI*

1. はじめに

学習活動を行ううえで、ICTを利用して、個人の意見や発見、知識を学習者間で共有させることを用いた教育実践が行われている。例えば、小学生に家庭や教室の外で観察したものをカメラ付き携帯電話で撮影・共有させる取り組み⁽¹⁾⁽²⁾、設定したテーマと関連するものをカメラ付き携帯電話で撮影、コメント付きで共有させ、写真データベースとして学習で活用する取り組み⁽³⁾、作成したプログラムを学習支援システム上で共有させる取り組み⁽⁴⁾、大学のOB・OGに仕事に関する情報をSNS上で共有させ、就職活動中の学生の参考にさせる取り組み⁽⁵⁾等が行われている。

このように学習活動にICTを利用した情報共有を活用する取り組みが多く行われている。このような取り組みを行う場合、例えばLMSの掲示板機能やFacebookのグループ機能等、特定のツールを利用した情報共有を行うためには、「そのツールのアカウントを所有している」ことや「そのツールの使い方に習熟している」ことが前提条件となる。教育機関に所属している児童・生徒・学生に対してなら、所属機関のアカウントを利用することができるため、大きな問題はない。しかし、オープンキャンパス・公開講座・他大学との交流学習・大学と地域の交流学習イベント等、必ずしもその教育機関の構成員ではない参加者が

出席する研修や講習といった単発的に開催される学習活動でICTを活用した情報共有を実施したい場合は、参加者に対してアカウントの発行やツールの操作方法的なレクチャーをする必要が生じる。限られた時間でそのようなことをすることは難しく、学習者全員にICTツールを利用した情報共有をさせることは諦めざるを得ないのが現状である。

そこで本研究では、学習者が日常的に利用しているツールで入力した情報が自動的に収集され、LMS上に集約して表示・保管されるシステムSharedPanelを設計・開発した。SharedPanelが主な対象とするのは、各種ツールを入力インターフェースとした情報の共有を中心とする学習活動である。共有される情報は、各学習者の意見や経験、見つけたもの等のテキストデータもしくは画像である。その情報共有をサポートするために必要となるシステムの要件として、学習者にとって日常的に利用している入力しやすいツールで情報の入力ができること、入力された情報が自動的に一覧で表示され、ほかの学習者が入力した情報を確認できることが考えられる。SharedPanelでは上記の要件を満たすために、学習者が日常的に利用しているSNSのFacebookとTwitter, Email, Evernoteで入力した情報が自動的に収集され、Moodleの活動モジュール上にカード形式で一覧表示する機能を設計・開発した。本システムを利用することで、アカウント発行やツ

* 熊本大学大学院教授システム学専攻 (Graduate School of Instructional Systems, Kumamoto University)

受付日: 2016年12月1日; 再受付日: 2017年4月25日; 採録日: 2017年6月19日